

**安城市地域福祉計画策定のための市民・事業者アンケート調査
報告書概要版**

平成30年3月

安 城 市

目 次

市民アンケート調査 結果概要	1
1. 福祉との関わり	1
2. 福祉に関する情報の入手程度	2
3. 福祉に関する情報の入手程度 ※年齢別	2
4. 福祉に関する知りたい情報	3
5. 福祉に関する知りたい情報 ※福祉に関する情報の入手程度別	3
6. 近所づきあいの程度	4
7. 望ましい近所づきあいの程度	4
8. 近所の人からの頼みごとやお手伝いの「有無」	5
9. 近所の人からの頼みごとやお手伝いの「内容」	5
10. 地域の人たちに支援してほしいこと	6
11. 地域の人たちに支援してほしい事項の地域の範囲	6
12. 地域福祉活動への関わり	7
13. 福祉活動をする上で「ほしい」対価と福祉活動を「依頼する」上での対価 ..	7
14. 町内福祉委員会の認知度	8
15. 町内福祉委員会へのかかわり	8
16. 毎日の暮らし・10年後の暮らしの悩みや不安	9
17. 優先すべき地域福祉関連施策	9
18. 市民アンケート調査結果のポイント・課題	10
事業所アンケート調査 結果概要	10
1. 諸団体と協力してもよい事柄	11
2. 地域の諸団体との交流の現状・交流意向	11
3. （参考）共生型サービス事業所	12
4. 共生型サービス事業所となる意向	12
5. 事業所アンケート調査結果のポイント・課題	13

市民アンケート調査 結果概要

(1) 目的

新たな「第4次安城市地域福祉計画」の策定にあたっての基礎資料として活用するため、市民の福祉に関する意識、現在や将来の暮らしの課題、地域福祉活動等の取組実態や意向等を明らかにすることを目的に実施。

(2) 方法等

- ①調査対象：18歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
- ②調査方法：郵送による配布・回収
- ③調査期間：H29.11.21（火）～12.6（水）

(3) 回収状況

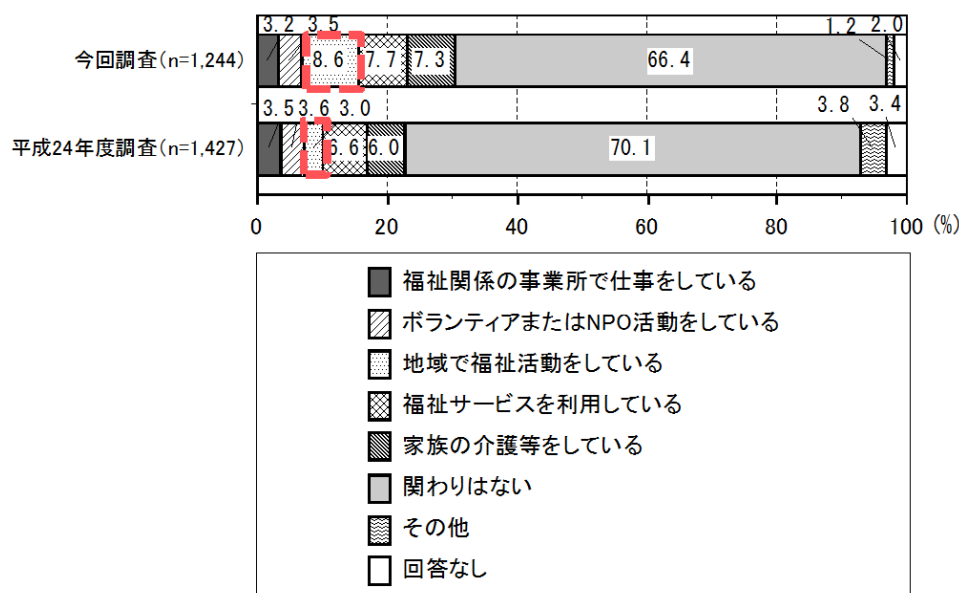
	配布数	有効回答数	有効回収率
今回	3,000	1,244	41.5%
前回	3,000	1,427	47.6%

1

1. 福祉との関わり

問10 現在のあなたと福祉との主な関わりは次のどれですか。（○は1つだけ）

✓ 前回調査に比べ、「地域で福祉活動している」が**5.6ポイント増加**



2

2. 福祉に関する情報の入手程度

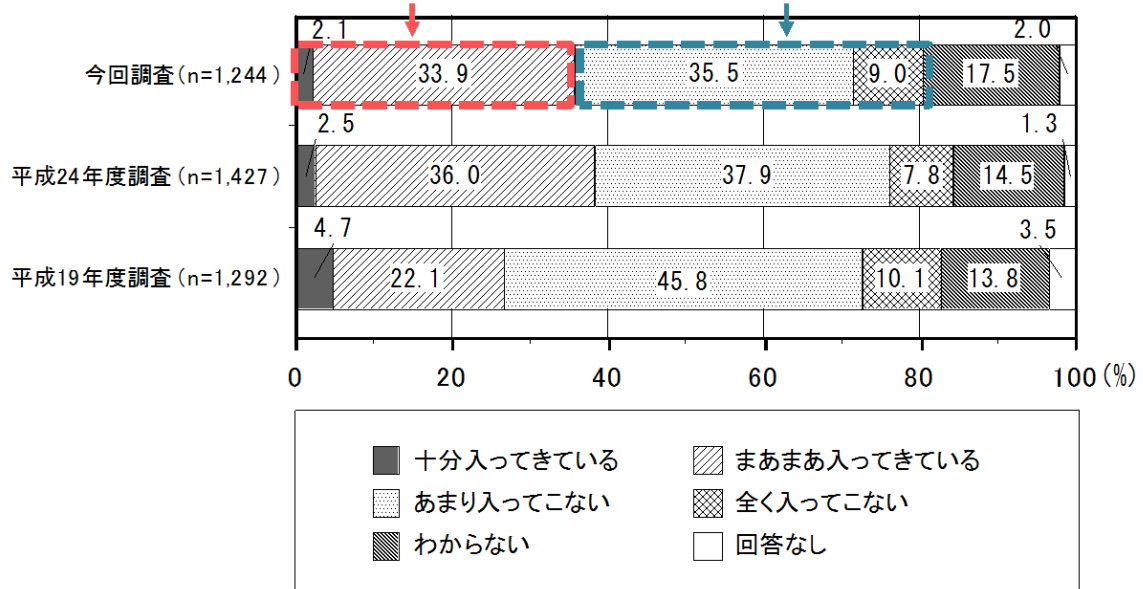
問12 あなたは、現在、福祉に関する情報（問11の選択肢参照）がどの程度入ってきているとお考えですか。（○は1つだけ）

✓ 「十分」「まあまあ」の合計

→ **36.0%が「入ってきている」**

✓ 「あまり」「全く」の合計

→ **44.5%が「入ってこない」**



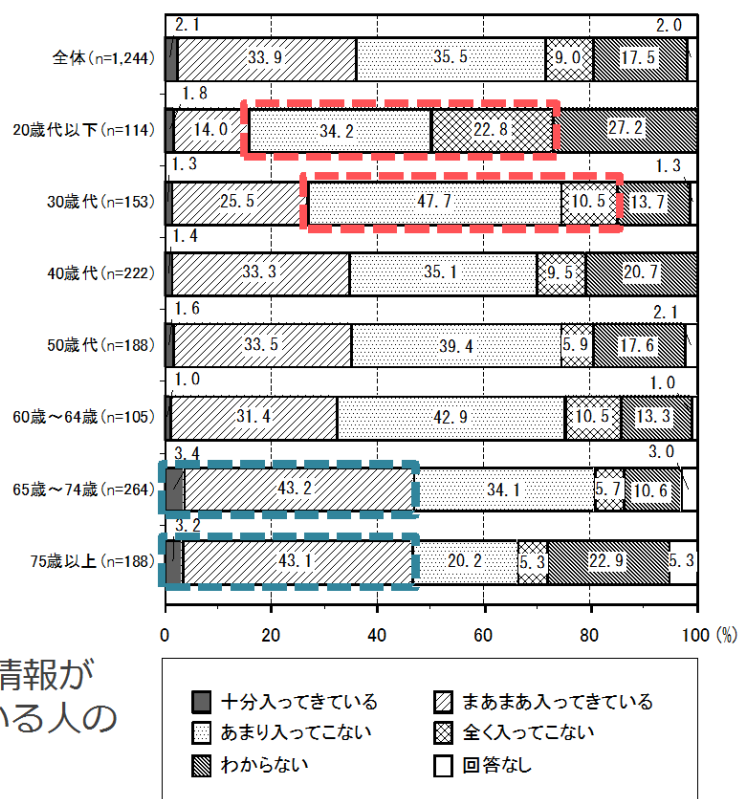
3

3. 福祉に関する情報の入手程度 ※年齢別

問12 あなたは、現在、福祉に関する情報（問11の選択肢参照）がどの程度入ってきているとお考えですか。（○は1つだけ）

✓ 年齢別では、**20歳代以下と30歳代の若い年齢層では、「情報が入ってこない」と感じている人の割合が6割近く占める。**

✓ また、**65歳以上になると「情報が入ってきている」と感じている人の割合が増加する。**

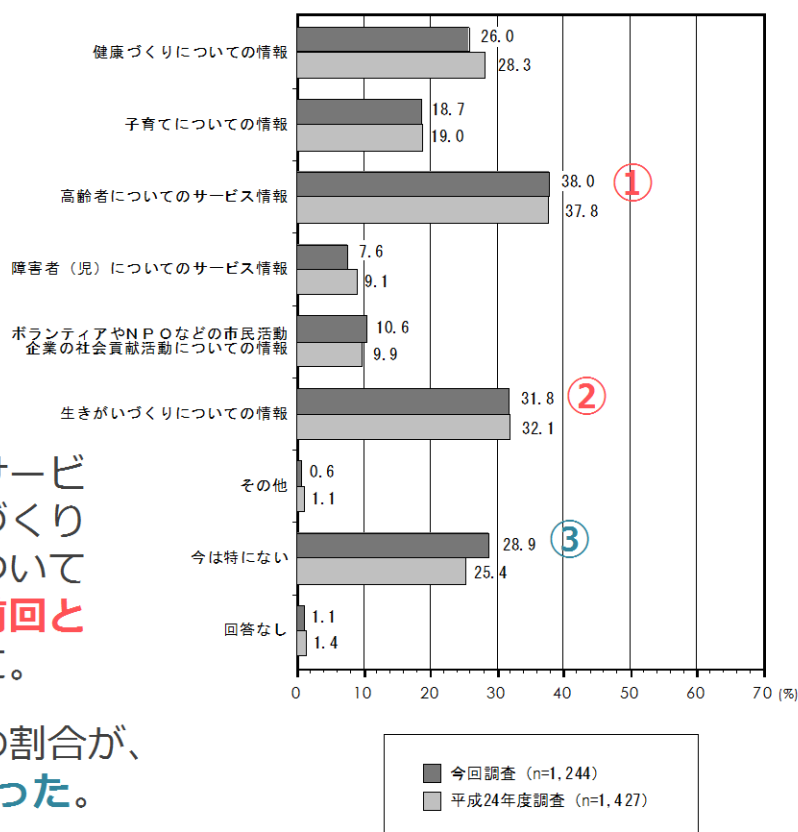


4

4. 福祉に関する知りたい情報

問11 あなたは福祉に関してどのような情報を知りたいですか。（あてはまるものすべてに○・ない場合は8に○）

- ✓ 「高齢者についてのサービス情報」「生きがいづくりについての情報」については、今回の調査でも**前回と変わらず、高い結果**に。
- ✓ 「今は特にない」人の割合が、3番目に**高い結果**となった。



5

5. 福祉に関する知りたい情報

※福祉に関する情報の入手程度別

問11 あなたは福祉に関してどのような情報を知りたいですか。（あてはまるものすべてに○・ない場合は8に○）

- ✓ 「福祉に関する情報が入ってきている」と感じる人ほど、**高齢者の生活に関する情報を中心に知りたい人が多い。**
- ✓ 「あまり入ってこない」と答えている割合が高いことから、**知りたいと考えながらも、情報にアクセスできていない人が少なくない。**
- ✓ 「全く入ってこない」「わからない」と答えた人は、そもそも、**福祉に関する情報を今は知りたいと考えていない人が多い。**

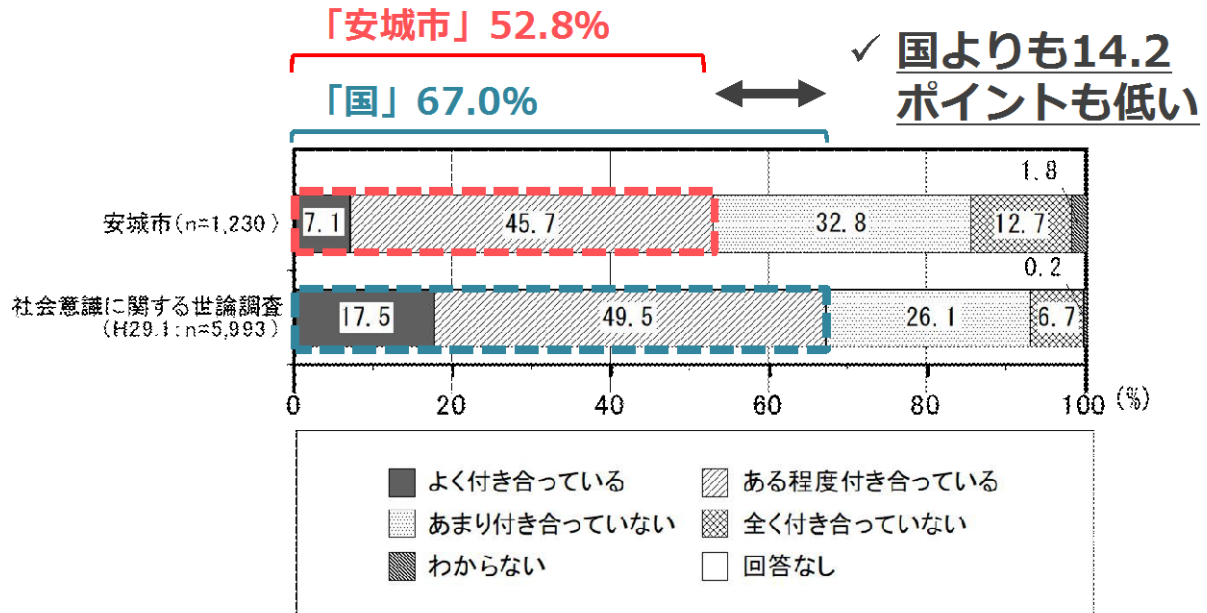
情報の種類	全体 (1,244)	十分入ってきている (26)	まあまあ入ってきている (422)	あまり入ってこない (441)	全く入ってこない (112)	わからない (218)
健康づくり	26.0	42.3	31.3	29.9	19.6	10.1
子育て	18.7	11.5	18.5	24.3	18.8	10.1
高齢者へのサービス	38.0	53.8	43.1	41.3	33.0	22.5
障害者・児へのサービス	7.6	19.2	7.1	10.0	8.0	3.2
ボランティアなどの市民活動企業の社会貢献活動	10.6	30.8	10.4	12.7	9.8	6.0
生きがいづくり	31.8	46.2	39.1	35.1	21.4	14.2
その他	0.6	3.8	0.7	0.7	0.9	0.0
今は特にない	28.9	19.2	21.8	19.3	36.6	58.3
回答なし	1.1	3.8	1.2	1.0	0.9	0.5

6

6. 近所づきあいの程度

問15 あなたは、地域での付き合い（近所づきあい）をどの程度していますか。（○は1つだけ）

✓ 「よく」「ある程度」付き合っている人の合計

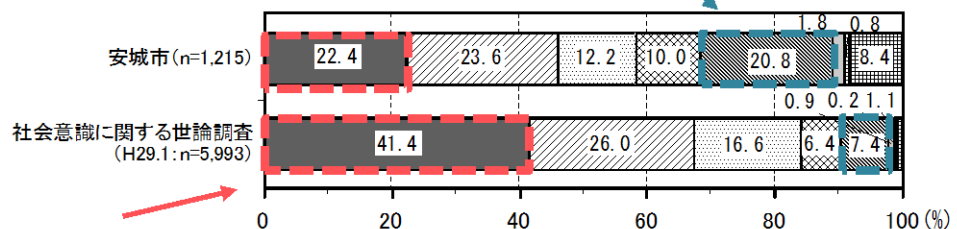


7

7. 望ましい近所づきあいの程度

問17 地域での付き合い（近所づきあい）は、どの程度が望ましいと思いますか。（○は1つだけ）

✓ 「困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間であいさつを交わす」は、国よりも13.4ポイントも高い。



✓ 特に「住民全ての間で困った時にお互い助け合う」は、国よりも19.0ポイントも低い。

- 住民全ての間で困ったときに互いに助け合う
- ▨ 気の合う住民の間で困ったときに助け合う
- ▤ 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民がみんなで行事や催しに参加する
- ▧ 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間で世間話や立ち話をする
- ▩ 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間であいさつを交わす
- 地域での付き合いは必要ない
- ▦ その他
- ░ わからない

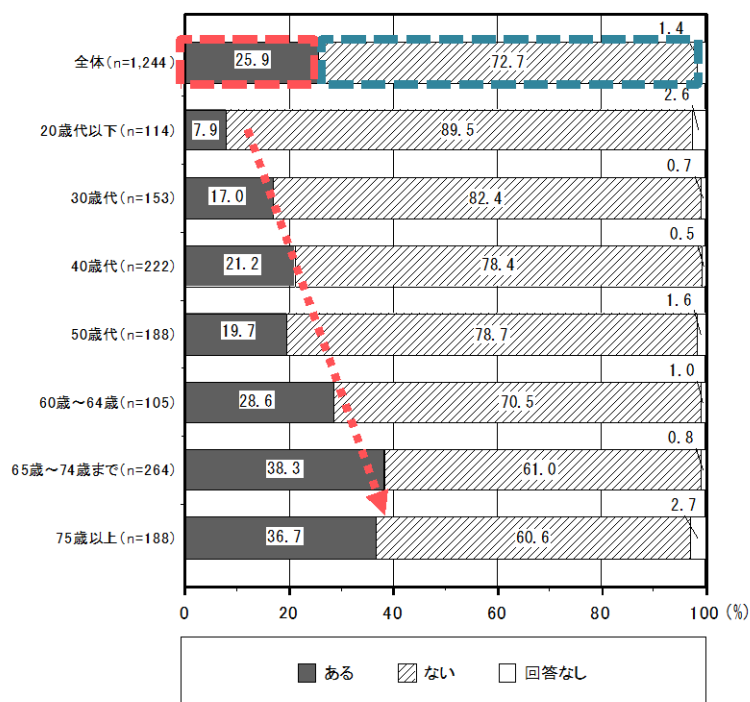
8

8. 近所の人からの頼みごとやお手伝いの「有無」

問18 あなたは、近所の人から頼みごとをされたり、お手伝いしたりすることがありますか。
(○は1つだけ)

✓ 全体の結果をみると、
「ある」 25.9%
「ない」 72.7%

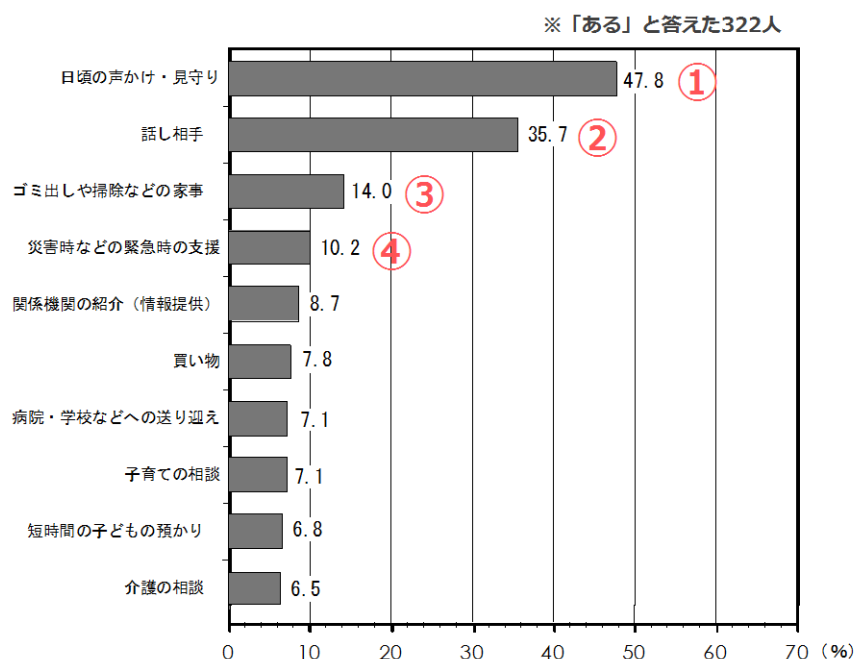
✓ **年齢が上がるほど、**
頼みごとをされたり、
お手伝いをしたりする
人の**割合が増えて**
いる。



9

9. 近所の人からの頼みごとやお手伝いの「内容」

問18-1 問18で「1 ある」を選んだ人におたずねします。①それは、どのような手伝いですか。(あてはまるものすべてに○・ない場合12に○)



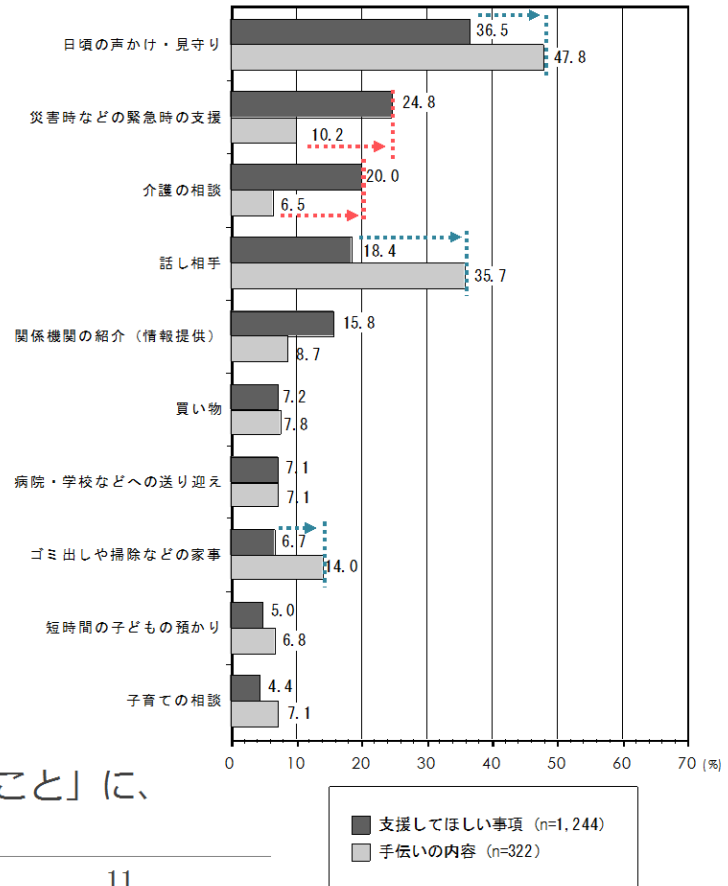
✓ 頼みごとやお手伝いの内容は、
①日頃の声かけ・見守り、②話し相手、③ゴミ出しや掃除などの家事、④災害時などの緊急時の支援
の順で高い結果に。

10

10. 地域の人たちに支援してほしいこと

問24 あなた自身やあなたのご家族が、介護や病気、子育てなどで困った時、A欄に示したようなことを、地域の人たちに支援してほしいですか。
(○は3つまで・ない場合は1,2,に○) ※後段(次スライド掲載部分)は省略。

順位	自分が支援してほしいこと	近所に頼まれて支援したこと
1	日頃の声かけ・見守り	日頃の声かけ・見守り
2	災害時などの緊急時の支援	話し相手
3	介護の相談	ゴミ出しや掃除などの家事
4	話し相手	災害時などの緊急時の支援



✓ 「してほしいこと」と「したこと」に、
隔たりが確認される。

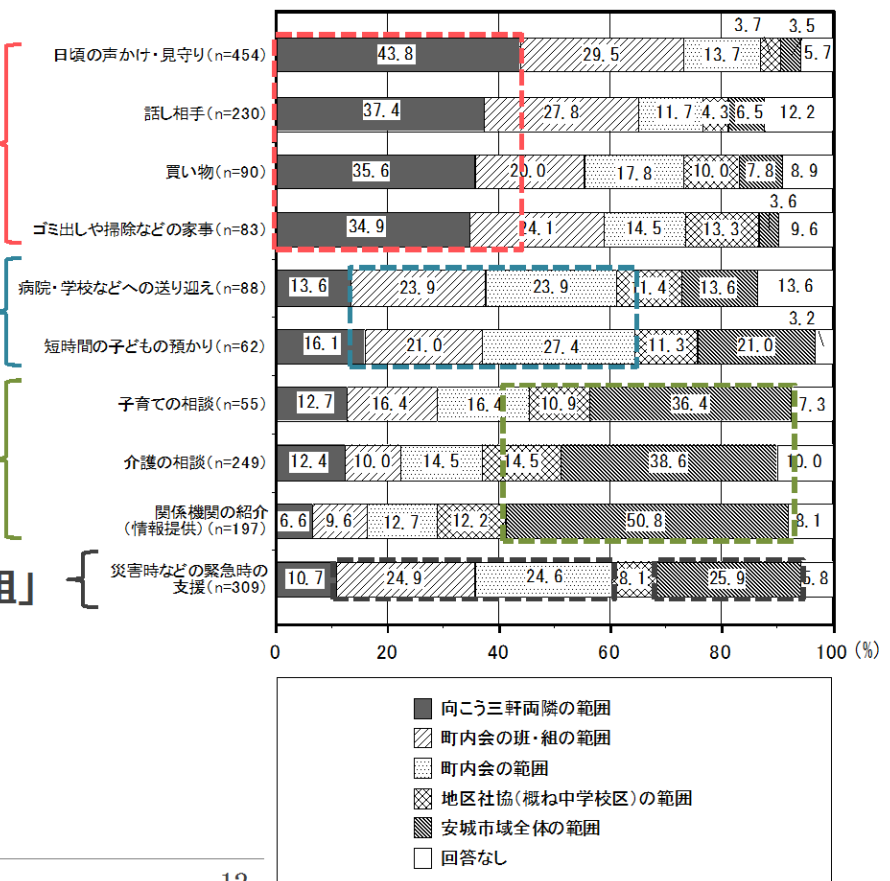
11

11. 地域の人たちに支援してほしい事項の地域の範囲

問24 ※前段(前スライド掲載部分)は省略。
また、A欄で○をつけた事項は、地域のどのような範囲で支援してもらいたいことがあなたにとって気兼ね等がないですか(B欄に回答)

向こう三軒両隣
町内会
市全体

「町内会の班・組」
「町内会」
「市全体」



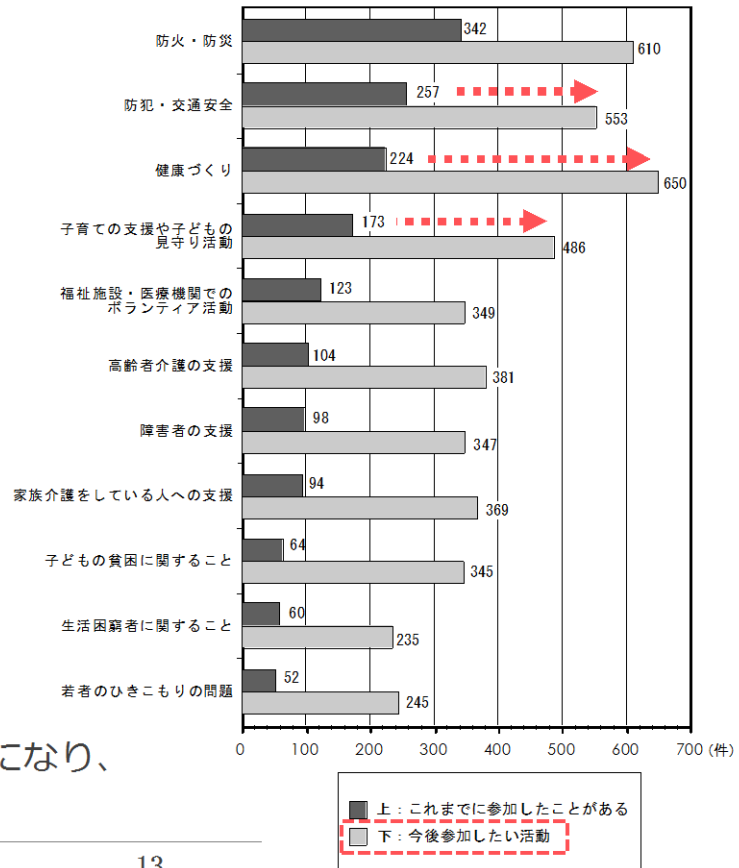
12

12. 地域福祉活動への関わり

問27 現在、あなたは、次の（ア）～（サ）のような地域福祉活動やボランティア・NPO等の活動に関わっていますか。また、今後関わっていきたいですか。（ア）～（サ）の項目それぞれについて、1～6の該当する番号を1つだけ選んで○をつけてください。

✓ いずれの活動においても、「今後参加したい」という人が、「これまで参加したことがある」を大きく上回っている。

✓ 潜在的な参加者は、相当数になり、どう掘り起こすかが重要。



13

13. 福祉活動をする上で「ほしい」対価と福祉活動を「依頼する」上での対価

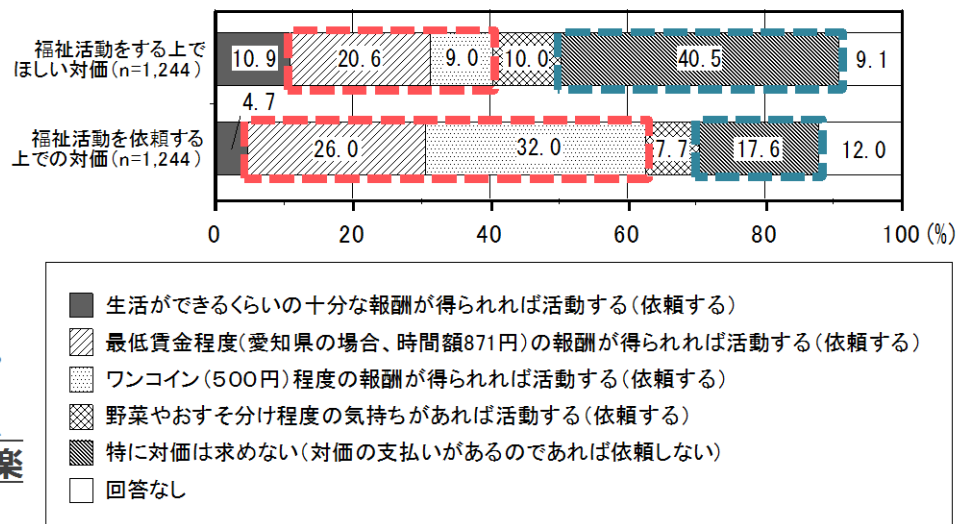
問29 あなたが地域で福祉活動をする場合、どれくらいの対価が得られれば活動したいと思いますか。（○は1つだけ）

問30 あなたが地域での福祉活動を依頼する場合、どれくらいの対価であれば依頼したいと思いますか。（○は1つだけ）

✓ 福祉活動を自らする際は、対価を求めない方が多い。

✓ 一方、依頼する場合は、最低賃金やワンコイン程度は支払いたいと考えている。

✓ 対価を支払って、依頼する方が気楽という意識。



14

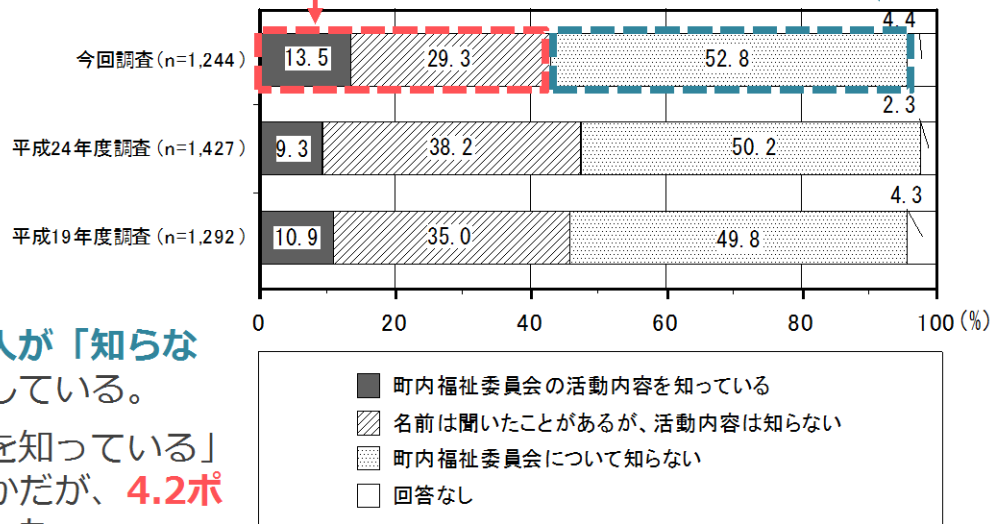
14. 町内福祉委員会の認知度

問32 町内福祉委員会についてどの程度ご存知ですか。（○は1つだけ）

✓ 「活動内容を知っている」
「名前は聞いたことがある」
の合計： **42.8%**

✓ 「知らない」
52.8%

- ✓ 半数以上の人「知らない」と回答している。
- ✓ 「活動内容を知っている」人が、わずかだが、**4.2ポイント増加**した。



15

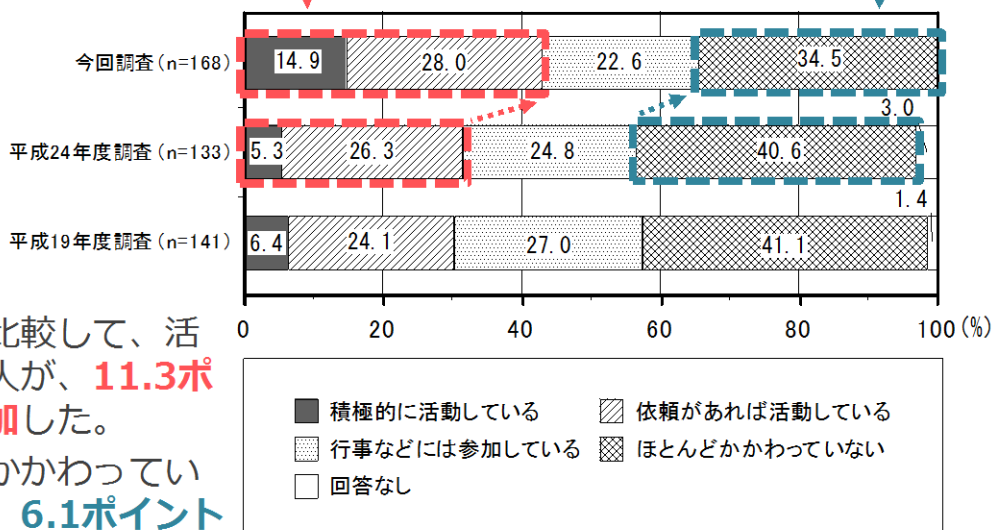
15. 町内福祉委員会へのかかわり

問32-1 問32で「1 町内福祉委員会の活動内容を知っている」を選んだ人におたずねします。町内福祉委員会の活動について、どのぐらいかかわっていますか。（○は1つだけ）

✓ 「積極的に」「依頼があれば」活動している人の合計： **42.9%**

✓ 「ほとんどかかわっていない」
34.5%

- ✓ 前回調査と比較して、活動している人が、**11.3ポイントも増加**した。
- ✓ 「ほとんどかかわっていない」人も、**6.1ポイント減少**した。



16

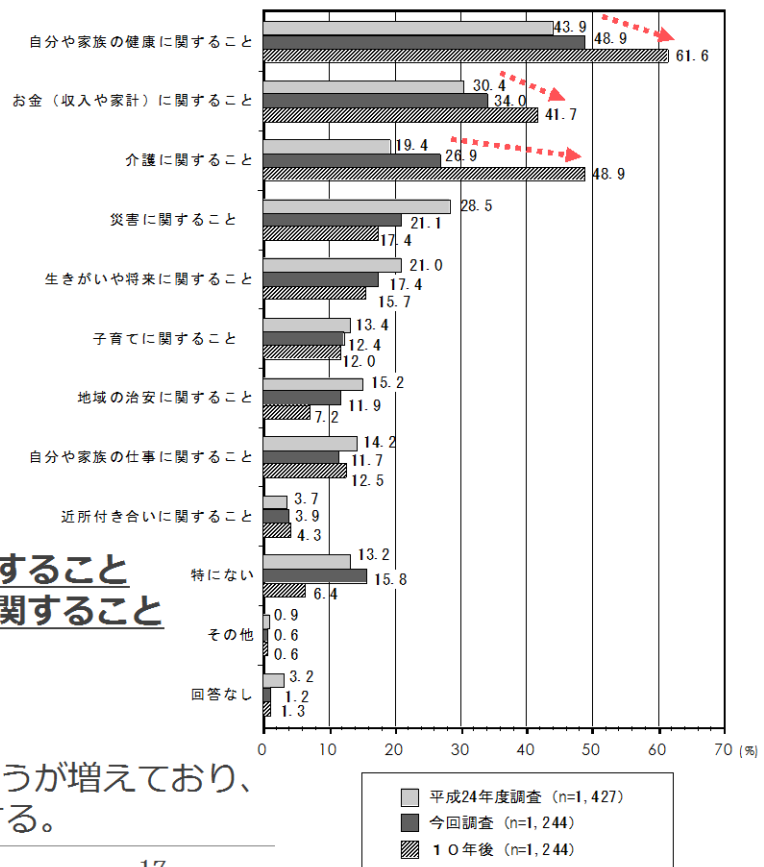
16. 毎日の暮らし・10年後の暮らしの悩みや不安

問20 毎日の暮らしの中で、次のどのようなことで悩みや不安を感じていますか。（○は3つまで・ない場合は10に○）

問21 10年後のあなたご自身やあなたの家族の状況を考えた場合、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことで悩みや不安を感じていると思われますか。（○は3つまで・ない場合は10に○）

- ✓ 大きな将来不安として、
 ① 自分や家族の「健康」に関すること
 ② 「お金（収入や家計）」に関すること
 ③ 「介護」に関すること
 が挙げられている。

- ✓ 上記は、前回よりも今回のほうが増えており、
10年後になるとさらに増加する。

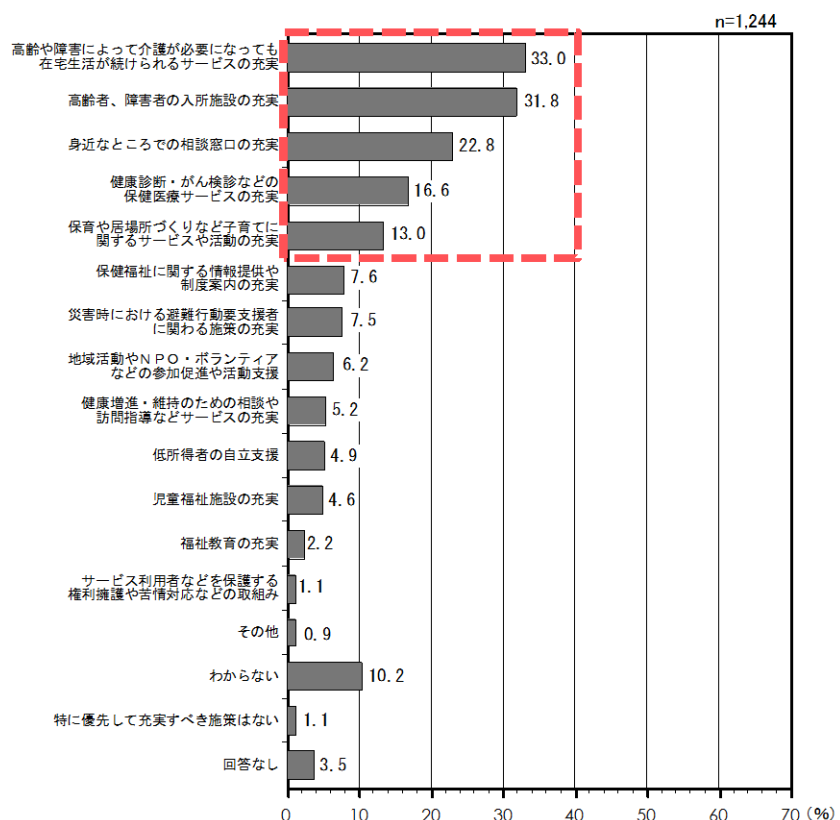


17

17. 優先すべき地域福祉関連施策

問37 今後、市は、以下のどの地域福祉関連施策を優先して充実すべきだと思いますか。（○は2つまで）

順位	地域福祉関連施策
1	高齢や障害によって、介護が必要になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実（33.0%）
2	高齢者、障害者の入所施設の充実（31.8%）
3	身近なところでの相談窓口の充実（22.8%）
4	健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実（16.6%）
5	保育や居場所づくりなど子育てに関するサービスや活動の充実（13.0%）



18

18. 市民アンケート調査結果のポイント・課題

- ◆ 福祉に関する情報は、年齢が上がるほど、ある程度入手できているが、知りたい情報があっても、あまり入ってこない人も少なくない。
- ◆ 近所づきあいについては、国の調査よりもあいさつ程度の軽いものが望まれる傾向が確認された。
- ◆ 地域の人たちに支援してもらいたいことは、内容によって、主体（町内会、市など）が異なる。
- ◆ 町内福祉委員会を知らない人が半数以上いるが、活動している人は前回調査よりも増加した。
- ◆ 地域活動を今後行いたいと考える人は、相当数がいるが、どう掘り起こし、行動に繋げるか。

19

事業所アンケート調査 結果概要

（１）目的

新たな「第４次安城市地域福祉計画」の策定にあたっての基礎資料として活用するため、地域において福祉サービスを提供している各事業所を対象に、サービスの担い手としての現状や今後の地域団体等との交流・協力の意向などを確認することを目的に実施。

（２）方法等

①調査対象

市内に所在地を有し、介護保険サービス、障害福祉サービスを提供する244事業所（内訳：介護保険161・障害福祉83）

②調査方法：郵送による配布・回収

③調査期間：H29.11.24（金）～12.8（金）

（３）回収状況

配布数	有効回答数	有効回収率
244	161	66.0%

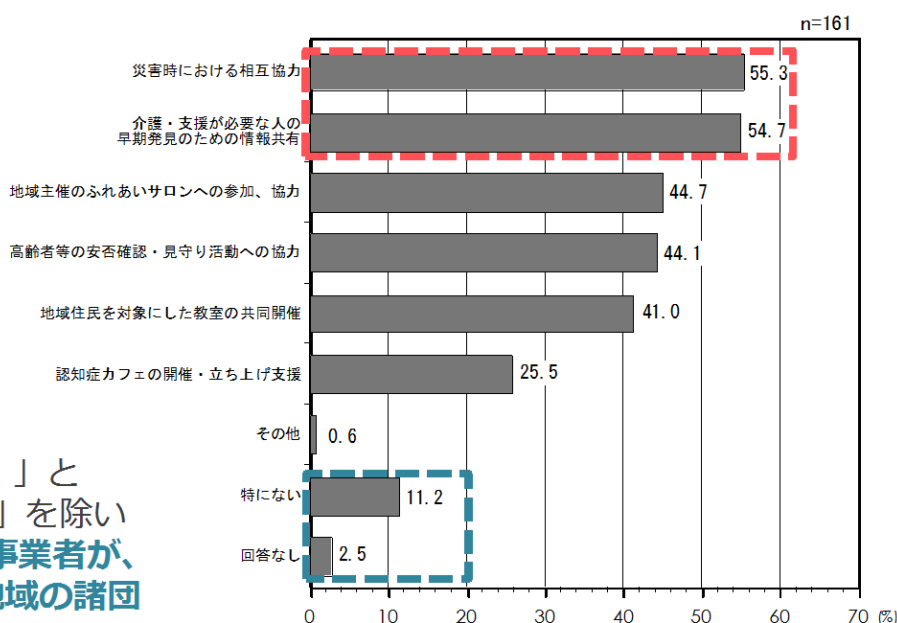
20

1. 諸団体と協力してもよい事柄

問13 貴事業所では、以下の項目の中で、地域の諸団体と協力して取り組んでみても良いと思われるものはありますか。（○はいくつでも）

✓ 特に、「災害時における相互協力」「介護・支援が必要な人の早期発見のための情報共有」については、**半数を超える**。

✓ 「特にない（11.2%）」と「回答なし（2.5%）」を除いた**86.3%の福祉関連事業者が、何らかの取り組みで地域の諸団体との協働の意向**を示している。

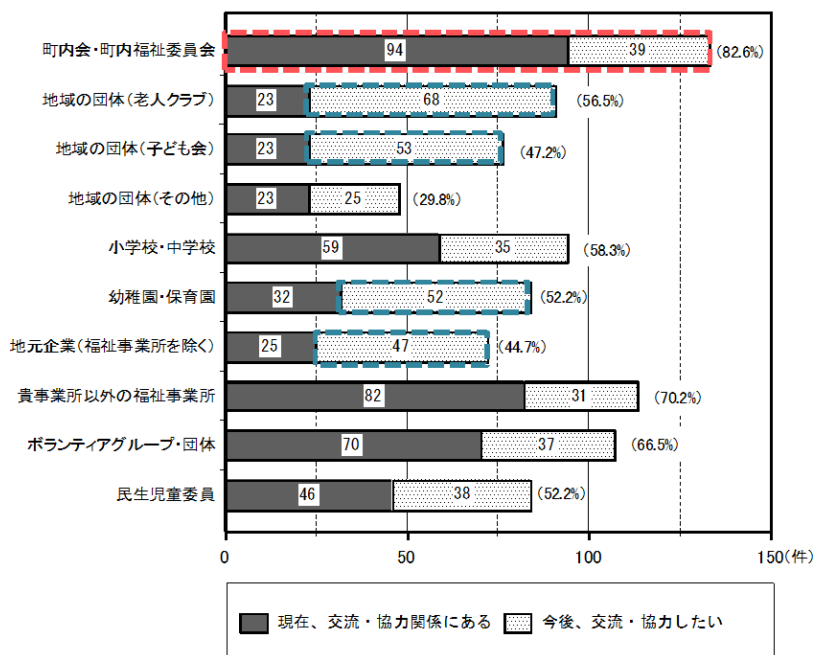


21

2. 地域の諸団体との交流の現状・交流意向

問11（抜粋） 貴事業所では、地域の諸団体（町内会・町内福祉委員会、地域団体、小中学校、幼稚園・保育園、地元企業、ボランティアグループ・団体、民生児童委員等）と交流や協力関係はありますか。

問12（抜粋） 貴事業所では、今後、地域の諸団体（町内会・町内福祉委員会、地域団体、小中学校、幼稚園・保育園、地元企業、ボランティアグループ・団体、民生児童委員等）と新たに交流したい・協力したいと思うところはありますか。現在、既に交流や協力関係があるもの（問11で回答したもの）は除きます。



- ✓ 今後も含めると、**82.6%（133／161）の事業所が、町内会・町内福祉委員会との交流・協力を**考えている。
- ✓ 多くの事業所が、**老人クラブ、子ども会、幼稚園・保育園、地元企業**などとの今後の交流・協力を検討している。

22

3.（参考）共生型サービス事業所

◆ 共生型サービスとは

同一の事業所において、一体的に

介護保険と障害福祉のサービスを提供する取り組み

◆ 2つの観点

- ✓ 障害者が65歳以上になり、介護保険の被保険者となっても、使い慣れた事業所において、サービスを利用しやすくなること
- ✓ 人材に限りがある中で、地域の実情に合わせた人材活用を図り、適切にサービス提供を行うこと

◆ 直近の国の動き

- ✓ 法改正（H29.6.2公布）による共生型サービスの創設
- ✓ 平成30年介護・障害報酬改定において、基準・報酬等への対応

23

4. 共生型サービス事業所となる意向

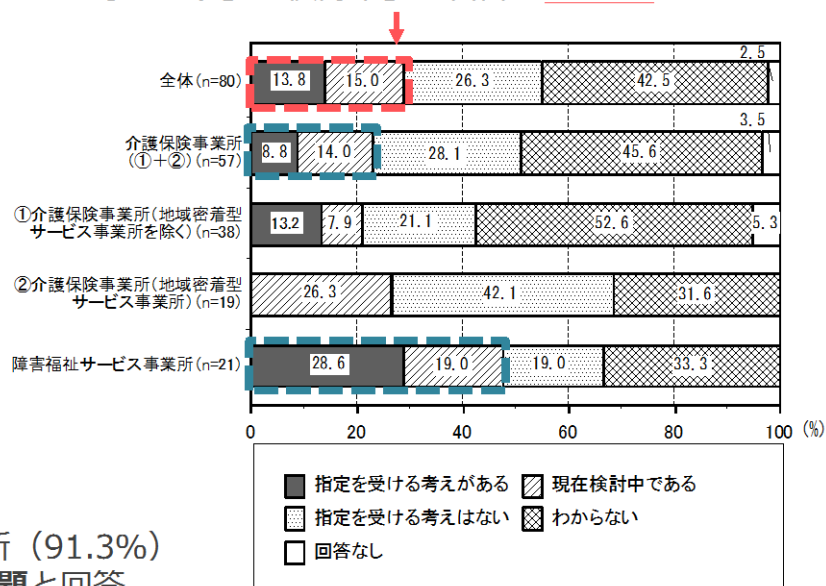
問18-2 貴事業所では、共生型サービス事業所となるお考えはありますか。（○は1つだけ）。
※障害福祉サービス事業所等であれば、介護保険事業所の指定を受けるお考えがありますか。
その逆も同じ。

- ✓ 対象の80事業所中、「指定を受ける考えがある」「現在検討中」と答えたのは**23事業所（28.8%）**あった。

- ✓ **介護保険事業所よりも障害福祉サービス事業所において、共生型サービス事業所となる意向を示している割合が高い傾向**となっている。

- ✓ 上記23事業所中、21事業所（91.3%）が**新規スタッフの確保が課題**と回答

- ✓ 「考えあり」「検討中」の合計：**28.8%**



24

5. 事業所アンケート調査結果のポイント・課題

- ◆ 町内会などの地域の団体と、何らかの事業において、協力して取り組んでもよいと考えている事業所が、9割近くあった。
- ◆ その中でも「災害時における相互協力」「介護・支援が必要な人の早期発見のための情報共有」が半数を超えている。
- ◆ 町内会・町内福祉委員会との交流・協力関係を考える事業所が最も多く、また新たな関係を構築することを検討している事業所も多くある。
- ◆ 共生型サービス事業所を考えている（検討している）事業所のうち9割が新規スタッフの確保が課題であると考えている。